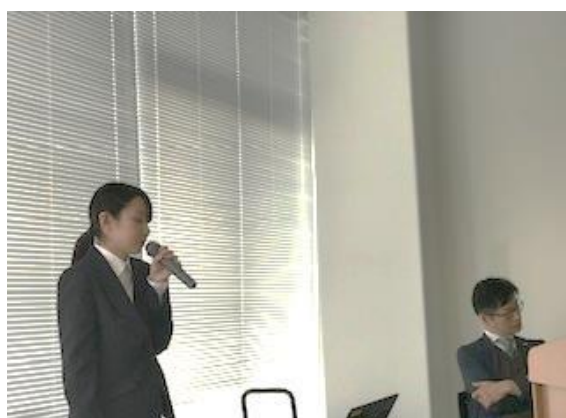


本学学生が留学成果を発表しました！

：～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～地域人材コース「新田山（にいたやま）グローバル人材育成事業」成果報告会に参加。

3月18日（月）、群馬大学太田キャンパスのものづくりイノベーションセンターにおいて、「～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～地域人材コース「新田山（にいたやま）グローバル人材育成事業」成果報告会」がおこなわれました。太田市や文部科学省、当事業 協賛企業、プログラム参加大学の関係者がいらっしやるなかで、この留学プログラムを射止めた本学2年生 今泉茜美さんが、事前研修、現地留学とインターンシップ、事後研修で得た学びの成果を披露してきました。このプログラムは地元での事前／事後の研修が充実しており、留学とセットで用意されていることが大きな特徴です。



この日の成果報告では、次のようなプレゼンテーションがおこなわれました。国家プロジェクトであると同時に、太田市独自の留学支援事業でもある「新田山（にいたやま）グローバル人材育成事業」を活用して、2018年の夏におよそ1ヶ月間、カナダのバンクーバーへ留学を果たしたこと。また留学に先だって、太田市ではあわせて20日間におよぶ事前／事後研修が実施されたこと。

じっさいの研修は太田市企画政策課、太田市農業政策課、そして太田市環境政策課（→フードバンク）、太田商工会議所青年部、エフエムTAROさまなどのご協力をいただいて、留学前のそなえと帰国後の学びの深化に活かすことができたこと。

とりわけフードバンクでの研修が大いに得るところがあり、食と経済という視点から得た「太田市とバンクーバーにおけるフードバンクの比較検証」が、まさに留学時と帰国後をつうじての主要な研究テーマになったこと。太田市のみならず日本全体においてフードバンクの認知度が低いことが問題であり、今後は認知度向上に貢献したいこと——。そして、支援企業や関係者達に感謝の言葉が述べられ、報告は締めくくられました。



留学と研修で得た知見と成果を世の中に広く発信していくことが「トビタテ！留学 JAPAN」留学生に求められます。帰国後のエフエム TARO での研修は、その後、本学の学生制作ラジオ番組「太田を元気に！ Smile Project」でのパーソナリティ活動等に存分に活かされています。これからも太田市を大いに盛り上げるエヴァンジェリスト（伝道師）として、ご活躍を期待しています！

今泉さんは「このトビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラムで得たさまざまな経験をきっかけに、私の人生は劇的に変わりました。後輩もぜひチャレンジしてほしいです」というメッセージを寄せてくれました。本学の学生も、後に続いて、ぜひ挑戦してください。